

# I. 調査結果概要

調査・各項目のデータは、加盟組合が記載したものを掲載しています。回収数、組織・地域のアンバランスなどがありますが、比較データとしてご活用頂き、賃金・労働条件改善の一助になればと思います。(数値の単位は「円」です。)

## 1. 平均賃金

全体の平均賃金（基本給、所定内賃金）は、下記（１）のとおりです。平均勤続年数は、「正職員」10.6年、「医師除く」11.2年です。また、平均年齢は「正職員」が39.5歳、「医師除く」が38.8歳です。同一組合の平均賃金の比較（２）（３）では、すべてのデータが引き下がっています。同一組合の対象数にばらつきがあるため、参考数字としての扱いとなりますが、ベースアップがほとんどない中で労務構成が変わると、平均賃金が下がることもあります。

### （１）全体平均

	<正職員>		<医師除く正職員>	
	14春闘確定前	14春闘確定後	14春闘確定前	14春闘確定後
基本給	281,662	280,745	263,158	263,919
所定内	285,267	272,709	255,986	250,353

### （２）同一組合平均の比較（正職員）

	基本給（50組合）	所定内（40組合）
14春闘確定後	278,581	270,839
14春闘確定前	279,123	271,266
差	▲541	▲428

### （３）同一組合平均の比較（医師除く正職員）

	基本給（64組合）	所定内（38組合）
14春闘確定後	263,152	247,829
14春闘確定前	263,927	248,957
差	▲775	▲1,127

## 2. モデル・ポイント賃金

モデル・ポイント賃金の平均は、下記の一覧表（1）です。全体的にはほぼ前年並みで、国家資格の専門職が殆どにも拘わらず「低い初任給」と「ねたきり賃金」になっています。2012年度から、薬剤師（6卒）と管理栄養士のモデル賃金を追加しています。

### （1）モデル・ポイント賃金の平均

	初任給	35歳	50歳
医師	319,931	521,057	723,017
薬剤師（6卒）	214,723	290,432	378,252
薬剤師（4卒）	202,323	288,285	375,618
看護師	199,581	281,446	362,629
准看護師	172,596	257,386	329,290
看護補助者・助手	151,284	233,554	293,485
放射線技師	187,894	276,765	361,874
臨床検査技師	185,037	273,084	355,070
理学療法士	189,258	275,822	356,762
作業療法士	189,028	274,870	354,247
臨床工学技士	185,237	277,290	362,069
言語聴覚士	188,072	274,598	356,188
臨床心理士	192,690	271,067	356,170
歯科衛生士	175,684	264,830	344,094
歯科技工士	176,075	271,210	351,627
管理栄養士	184,836	267,552	344,496
栄養士	172,523	261,595	339,666
調理師	156,791	239,898	306,064
保育士	166,763	250,366	319,398
介護福祉士	165,236	240,238	303,748
ヘルパー	154,894	224,094	279,891
大卒事務	179,811	260,884	343,845
高卒事務	154,966	251,586	327,646
労務	151,259	239,398	303,313

## (2) 同一組合による看護師・介護福祉士の前年度平均との比較

介護福祉士・看護師・高卒事務で比較を行っています。介護福祉士については、「初任給」で前年比+839円、「35歳」で+1,215円、「50歳」で+394となっており、小幅ながらも全年齢層で改善が見られています。

一方で、看護師については「35歳」で▲212円、「50歳給」で▲1,220円と、年齢階層が上がるに連れて昨年よりも賃金が下がっています。

高卒事務についても、「初任給」は1,074円上がったものの、「35歳」▲119円、「50歳」▲10円となっています。

介護福祉士		初任給	35歳	50歳
2013年度	全体平均	165,117	242,611	308,692
2014年度	全体平均	165,956	243,826	309,086
前年差		839	1,215	394

看護師		初任給	35歳	50歳
2013年度	全体平均	197,851	278,797	358,743
2014年度	全体平均	198,686	278,585	357,523
前年差		835	▲212	▲1,220

高卒事務		初任給	35歳	50歳
2013年度	全体平均	154,925	250,893	325,014
2014年度	全体平均	155,999	250,774	325,005
前年差		1,074	▲119	▲10

### 3. 最賃協定額

最賃協定額の平均は、下記(1)のとおりです。月額を見ると、昨年調査より全体的に若干下がっています。また、協定額の「最高」と「最小」の格差が大きく、看護師の月額で7万円を超える格差、時給額では750円もの格差になっています。

#### (1) 最賃協定額の平均

	月額	日額	時間額
--	----	----	-----

看護師	191,928	8,993	1,184
准看護師	166,863	7,939	1,042
ヘルパー	153,865	7,026	907
誰でも	150,298	6,549	868

(2) 最賃協定額の最高と最低の差 (看護師・誰でもの場合)

看護師	月額	日額	時間額
最高	224,500	10,992	1,600
最小	150,300	7,336	850
差	74,200	3,656	750

誰でも	月額	日額	時間額
最高	180,000	8,407	1,121
最小	125,300	5,400	685
差	54,700	3,007	436

#### 4. パートの賃金

パートの時間額平均は、以下の通りです。地域や病院性格別の差が大きく、「最高」と「最小」では2倍以上も違います。一時金の支給基準については、「経験で支給」「正職員と別基準」が圧倒的になっています。

	看護師	准看護師	事務部門	給食部門	介護福祉士	ヘルパー
平均	1,242	1,089	882	894	917	890
最高	2,400	2,000	1,405	1,609	1,150	1,130
中位	1,170	1,023	850	850	900	862
最小	850	800	715	685	700	700

#### 5. 退職金

(1) 算定基礎 「集計表」を参照下さい。

(2) 退職金支給開始時期と支給月数

支給開始時期は平均で就職後 2.4 年、支給月数は 1.2 か月でした。

### (3) 退職金支給月数

定年年齢に一番近い「40 年」で見ると、「希望（自己）退職」で平均 45.9 ヶ月、「定年退職」で平均 47.5 ヶ月です。全体の最高 65.0 ヶ月、中位でも 50.0 ヶ月と差があり、組合間格差がかなりあります。

### (4) モデル退職金

看護師のモデル退職金は下記のとおりです。支給額の最高と最小では大きな格差があり、病院性格別では、公的地場や自治体が高く、民医連生協や福祉が低い実態です。

	月数	支給額
平均	50.3	17,804,661
最高	120.0	28,187,271
中位	50.0	17,591,340
最小	1.2	2,430,000

### (5) パート・非常勤職員の退職金制度

制度が「ある」と答えたのは 20 組合であり、昨年と変わっていません。

以下については、集計表をご覧ください。

2013 年度から、各種手当（待機手当、手術室手当、透析手当、専門・認定看護手当、医師手当）の有無、年間一時金の項目を設けました。

6. 中途採用者の前歴加算

7. 早出手当

8. 遅出手当

9. 夜勤手当

10. 家族手当・住宅手当

11. 各種手当、年間一時金

12. 年間総労働時間

1 日の労働時間では拘束 8 時間 29 分、実働 7 時間 30 分、休息 59 分となりま

した。また1週間の労働時間は拘束43時間28分、実労働38時間36分です。年間総労働時間の平均は1838時間52分で、昨年よりも10時間程度短くなっています。最も長い年間総労働時間は2065時間45分でした。性格別では軒並み1800時間を超えており、福祉では1942時間30分と最も長くなっています。

以下についても、集計表をご覧ください。

### 13. 36協定、夜勤協定

### 14. 年間休日

### 15. リフレッシュ休暇

### 16. 週休の形態

「完全週休2日制」29.8%、「4週8休制」28.2%を合わせると58.0%と前年より4.3ポイント増加しています。

### 17. 賃金・労働条件の改悪の動きについて

#### (1) 職能給・成果主義賃金について（カッコ内は前年値）

回答のあった101組合中、「導入の動きはない」が79組合78.2%（82.1%）、「提案されている」「動きがある」9組合8.9%（7.8%）、「以前から導入されている」13組合12.9%（10.3%）となっています。

#### (2) 退職金の切り下げなどの動向（カッコ内は前年値）

回答のあった101組合中、「動きはない」65組合64.4%（57.4%）、「動きがある」6組合5.9%（10.4%）、「現在提案されている」6組合5.9%（6.1%）、「この1年に実施」「1年以前に実施」24組合23.8%（26.3%）となっています。

### 18. 安全・衛生委員会の実態

(1) 安全衛生委員会の設置については、「ある」が123組合中112組合91.1%（前年87.9%）となり、改善しています。

(2) 委員会の構成については「労使ほぼ同数」が 106 組合中 74 組合 (69.8%)、委員会の開催は「月 1 回定期的」が 110 組合中 86 組合 (78.2%) となっています。

(3) メンタルヘルス対策について「委員会で論議している」が 98 組合中 77 組合 (78.6%) でした。

以上